

衆院1区出馬 松本氏が表明

1月の緊急事態宣言下で東京・銀座のクラブに深夜まで滞在していた問題を受けて自民党を離党した衆院議員の松本純氏(71)(神奈川県1区選出)が16日、県庁で記者会見し、次期衆院選に同じ1区から立候補すると表明した。「反省を背負い続けて生きる覚悟」と述

べたうえで、薬剤師として新型コロナウイルスのワクチン接種の体制を整備し、治療薬開発を促進すると訴えた。

松本氏は横浜市議を経て1996年衆院選で初当選し、現在7期目。官房副長官や国家公安委員長を歴任した。自民への復党については「政策実現のため復党したいとは思っているが、わがままを言って解決する話ではない。党がどう考えるかだ」とした。